

# 相模原市さくらさくプロジェクト推進事業

## 令和5年度 事業計画書

**【令和5年5月補正】**

相模原市さくらさくプロジェクト推進協議会

## 事業の目的・必要性

### 1 背景

桜は相模原市シティセールスの第一戦略として掲げられている。平成24年度相模原市ブランド戦略会議では、本市の目指すべき都市ブランドイメージとして「住みやすく発展を続ける都市」が設定され、桜はその中で「さくら＝潤い・コミュニティ」と位置付けられた。桜名所は、市役所さくら通りや津久井稲生の桜山など市内各地域に広がっており、多くの市民に親しまれ愛されるその風情は、相模原市民桜まつりの活況が物語っている。

この「桜の普及」を目的として、市内公益5団体（相模原市観光協会、相模原市産業振興財団\*\*、相模原市都市整備公社\*、相模原市みどりの協会\*、相模原・町田大学地域コンソーシアム）の発起の下、平成25年7月に協議会を立ち上げた。桜の普及を通じて、桜を愛し桜に思いを寄せる市民の皆さまが、桜にいられた相模原市を誇らしく思い、そこで過ごす時間を大切にされ、それぞれの人生を美しいまちの姿に重ね合わせるような、魅力的なまちづくりへ寄与することを目指している。

\*平成26年4月、都市整備公社とみどりの協会は合併し、相模原市まち・みどり公社に改組

\*\*令和5年3月、産業振興財団は退会

当協議会設立後、これらの市民参加・協働による桜の植栽・保全活動、持続的な桜景観の創造に関わる人材（桜守）の育成、桜情報の発信、桜を核とした観光・ソフト化産業の開発など「桜を仲立ちとした人と自然が共生する環境の形成」の事業を実施し、「さがみはら桜守の会」を立ち上げることができた。その後、さがみはら桜守の会は、令和元年9月に市（市民協働推進課）から承認を受け「NPO法人さがみはら桜守の会」（以下「NPO桜守の会」という。）にまで成長すること事ができた。協議会結成10年を迎える令和5年度も、引き続き「桜の普及」のため、NPO桜守の会の活動拡大及び会員数増加への支援を実施する。

### 2 目的・必要性

本事業はNPO桜守の会を支援する事業と、当協議会として実施する事業で構成される。これらの事業を実施することにより、桜の保全、植栽活動を継続的に実施し、市民の憩いの場の確保及び創造を実施する。

各事業における実施目的は以下のとおり。

	事業名	実施目的
1	桜の植栽活動	環境保全活動の促進、及び絆づくりを深める。
2	桜守の募集	NPO桜守の会会員を継続的に募集し、活動の継続を図る。
3	さくらカフェの開講	桜に対する理解と環境保全活動に関心を深める。
4	情報発信	当協議会の活動等を発信することにより、桜の普及啓発活動の発展に寄与する。
5	その他	NPO桜守の会の補助を行い、桜の普及等に寄与する。 さくらに対する市民の意識調査を実施、協議会運営に反映する。

## 事業の実現

### 1 桜の植栽活動

市民参加型の桜の植栽活動に取り組む。植樹式等に地域住民を中心とした市民にご参加いただき、5年後、10年後に花を咲かせる桜に思いを馳せ、継続的な関わりも期待できる。桜名所を仲立ちとして人々が集う場が増え、観光面の貢献も期待できる。

#### 実施計画

事業名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
桜の植樹											○	

### 2 桜守養成講座

持続的な桜景観の創造には桜を守り育てる「桜守」が欠かせない。そのために桜に対する知識・技能を身に付けた桜守により構成されたNPO桜守の会が継続的に活動を実施するため、NPO桜守の会会員が講師となり「桜守養成講座」を行う。

また、あわせて、後継樹の育成方法を広めるため、接ぎ木講座を行う。

#### 実施計画

事業名	目標人数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
桜守養成講座	15人							○		○		○	
接ぎ木講座	20人											○	

### 3 さくらカフェの開講

日本花の会の職員を講師として招き、トークカフェを開催する。市民の誰もが気軽に参加できるオープンカフェ形式の講座を開講し、桜に関する専門知識や栽培技術、桜に関わる文学等、幅広いジャンルの話題を提供する。また、桜に関心を持った人が多く参加することが予想されるため、桜守団体の活動紹介及び会員募集も同時に行う。

#### 講座実施計画

事業名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
さくらカフェの開講												○

### 4 情報発信

市民まつり（令和5年は統一地方選挙年のため、さくらまつりは開催せず、若葉まつりの開催となる）において、当協議会の活動及び桜に関する情報発信を行う。

また、当協議会HPやSNSを活用して、同様の情報発信や、緑区（アリオ橋本内）の情報コーナーに「さくらマップ」を引き続き配架し、桜の普及啓発活動の発展に寄与する。

尚、HP運営の経費削減および維持効率化のため、専用サーバから「さがみはら地域ポータル」へ移行する。

#### 実施計画

事業名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市民若葉まつり		○										
情報発信	( 随 時 )											

## 5 その他

NPO桜守の会と共同で実施する桜の植樹場所、NPO桜守の会の活動場所、その他NPO桜守の会が実施する事業に係る各機関と調整を行うことで、NPO桜守の会の各活動を補助し、桜の普及啓発活動を実施する。

また、市民まつり等で、さくらに対する市民の意識調査を実施し、今後の協議会運営に反映させる。

- 【相模原市さくらさくプロジェクト推進協議会構成員】 (プロジェクトでの主担当)
- 公益社団法人 相模原市観光協会 ~~(さくらカフェ)~~ (情報発信)
  - ~~公益財団法人 相模原市産業振興財団 (植栽活動)~~
  - 公益財団法人 相模原市まち・みどり公社 (協議会事務局) (植栽活動)
  - 公益社団法人 相模原・町田大学地域コンソーシアム ~~(情報発信)~~ (さくらカフェ)
  - 特定非営利活動法人 さがみはら桜守の会 (桜守養成)

#### 【オブザーバー】

相模原市 中央区

観光・シティプロモーション課

【令和5年5月補正】

令和5年度収支予算書

事業名：相模原市さくらさくプロジェクト推進事業

項目	内訳	R4予算額	R5当初予算	補正案	補正予算	前年度比	
年度初資産残高	前年度繰越金	30,000	94,000		94,000	64,000	
収入	協賛金	120,000	100,000	25,000	75,000	45,000	
	受入寄附金	0	0		0	0	
収入合計(A)		120,000	100,000	25,000	75,000	45,000	
項目	内訳	R4予算額	R5当初予算	補正案	補正予算	前年度比	
支出	消耗品費	事務用品等	3,000	3,000		3,000	0
	広報費	HPサーバー管理費	20,000	0		0	20,000
	通信運搬費	協議会通知用郵便切手等	1,000	1,000		1,000	0
	手数料	苗木送料、振込手数料	7,000	7,000		7,000	0
	使用料及び賃借料	講座会場費	4,000	0		0	4,000
	諸会費	日本花の会	50,000	50,000		50,000	0
	桜守団体助成金	さがみはら桜守の会	35,000	40,000		40,000	5,000
	予備費		30,000	8,000		8,000	22,000
支出額合計(B)		150,000	109,000	0	109,000	41,000	
収支(A) - (B)		30,000	9,000	25,000	34,000	4,000	
年度末資産残高	次年度繰越金	0	85,000	25,000	60,000	60,000	